教育心理学Ⅰ

科目ナンバリング　EDP-101
選択　　2単位

稲田　尚子

1. 授業の概要（ねらい）

本授業では、教育・学校現場において生じる問題およびその背景、心理社会的課題および必要な支援について理解を深めることを目的とする。

2. 授業の到達目標

1.教育・学校現場において生じる課題やその背景について理解し、説明することができる。
2.教育・学校現場における心理社会的課題および必要な支援について理解し、説明することができる。
3.本授業で学んだ内容の一部を学生自身の生活に活かすことができる。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト70%（教科書・資料閲覧可）、最終テスト30%（教科書・資料持ち込み可）

4. 教科書・参考文献

教科書

野島 一彦（監修）／ 繁桝 算男（監修）／ 石隈 利紀（編）　公認心理師の基礎と実践 18 教育・学校心理学　遠見書房

5. 準備学修の内容

予習として、教科書の担当回を十分に読み、質問事項を最低2つメモしてきてください。
復習として、LMSを用いた小テストを実施しますので、翌回までに回答するようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

※ 2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。
2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

【第1回】　教育・学校心理学の意義
【第2回】　子どもの発達課題への取り組みの理解と援助
【第3回】　子どもの教育課題への取り組みの援助
【第4回】　スクールカウンセリングの枠組み–何を援助するか
【第5回】　子どもの多様な援助者とチーム学校
【第6回】　3段階の心理教育的援助サービス–すべての子ども,苦戦している子ども,特別な援助ニーズを要する子ども
【第7回】　発達障害の理解と援助
【第8回】　不登校の理解と援助
【第9回】　いじめの理解と援助
【第10回】　非行の理解と非行をする子どもの援助
【第11回】　学校における危機対応
【第12回】　学級づくりの援助–スクールカウンセラーの役割を中心に
【第13回】　学校づくりの援助
【第14回】　地域ネットワークづくりの援助と多文化支援
【第15回】　教育・学校心理学と公認心理師の実践と試験（オンライン）